

様式第一（第五条第一項関係）

人工衛星等の打上げに係る許可申請書

平成~~30~~令和元年 410 月 1 日

内閣総理大臣 殿

(郵便番号) 100-0013

住 所 東京都千代田区霞が関〇〇〇

氏 名 _____ 印

(法人にあっては、名称)

名称 〇〇〇〇株式会社 印

連絡先 〒***-**** 東京都千代田区大手町*-*-*

〇〇〇〇株式会社 総務部総務課 内閣 太郎

電話：03-6205-**** 内線9999

電子メール：naikaku-taro@xxx.co.jp

下記のとおり、人工衛星等の打上げの許可を受けたいので、人工衛星等の打上げ及び人工衛星の管理に関する法律第4条第2項の規定により、申請します。

記

人工衛星の打上げ用ロケットの設計（別紙1）又は型式認定番号	型式認定番号：〇〇〇〇〇	
打上げ施設の場所、構造及び設備（別紙2）又は適合認定番号	適合認定番号：〇〇〇〇〇	
ロケット打上げ計画（別紙3）	別紙3に示す	
人工衛星の打上げ用ロケットの型式、機体の名称及び号機番号	型式：CA0 ロケット 機体の名称：II型 号機番号：〇号機	
人工衛星の打上げ用ロケットに搭載される人工衛星の数並びにそれぞれの人工衛星の名称、利用の目的及び方法	人工衛星の数：2	
	(名称)	(目的及び方法)
	CA0 衛星 (主衛星)	目的：事業活動（地理空間情報分野） 方法：記録の提供（データ販売）

	ABC 衛星 (副衛星)	目的：実験（通信実験） 方法：通信方法 S 帯 なお、同じ大きさ、質量のダミーマス への置き換えの可能性あり。
人工衛星等の打上げに係 る業務を行う役員又は使 用人の氏名（申請者が法 人の場合）	役員：〇〇 〇〇（CA0 宇宙センター所長） 使用人：〇〇 〇〇（打上げ執行責任者）	
人工衛星等の打上げに係 る業務を行う使用人の氏 名	<u>使用人：〇〇 〇〇（打上げ執行責任者）</u>	
法第 5 条に定める欠格事由の該当有無		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>

- 備考 1 用紙の大きさは、日本産業工業規格 A 4 とすること。
- 2 氏名を記載し、押印することに代えて、署名することができる。この場合において、署名は必ず本人が自署するものとする。
- 3 人工衛星等の打上げ及び人工衛星の管理に関する法律施行規則第 5 条第 2 項各号に掲げる書類を添付すること。

法人の場合、役員及び使用人につ
いてはの住民票に記載された氏名
及び住所を記載してください。

申請時点ではダミーマスへの置き
換えが想定される場合、予め記載
し、確定後に届出をおこなって
ください。

(別紙 3)

ロケット打上げ計画

人工衛星等の打上げに係る許可に関するガイドライン 6.3 項を参考に記載してください。

- 1 保安及びセキュリティ対策
- 2 防災計画の策定等
- 3 推進薬等の取扱いに係る安全対策
- 4 落下予想区域等を考慮した飛行経路の設定
- 5 適切な落下限界線の設定
- 6 警戒区域の設定及び第三者の進入防止体制の構築
- 7 自然災害等による警報発令時の対策
- 8 航空機や船舶等への事前通報
- 9 適切な打上げ日時の設定
- 10 搭載される人工衛星を考慮した飛行能力
- 11 気象状況を踏まえた飛行成立性の確認

- 12 警戒区域解除前の第三者損害発生の防止
- 13 飛行安全管制の実施
- 14 飛行中断の実施
- 15 海上浮遊物の回収
- 16 軌道上デブリ発生の抑制
- 17 ロケット軌道投入段の保護域からの除去
- 18 ロケット打上げ計画を実行する体制の構築

様式第九（第十三条第一項関係）

型式認定申請書

平成~~30~~令和元年 410 月 1 日

内閣総理大臣 殿

(郵便番号) 100-0013

住 所 東京都千代田区霞が関〇〇〇

氏 名 _____ 印

(法人にあっては、名称)

名称 〇〇〇〇株式会社 印

連絡先 〒***-**** 東京都千代田区大手町*-*-*

〇〇〇〇株式会社 総務部総務課 内閣 太郎

電話：03-6205-**** 内線9999

電子メール：naikaku-taro@xxx.co.jp

下記のとおり、人工衛星の打上げ用ロケットの設計の型式認定を受けたいので、人工衛星等の打上げ及び人工衛星の管理に関する法律第13条第2項の規定により、申請します。

記

人工衛星の打上げ用ロケットの設計（様式第1の別紙1）	別紙1に示す
飛行中断措置その他の人工衛星の打上げ用ロケットの飛行経路及び打上げ施設の周辺の安全を確保する方法	添付資料〇〇に示す
人工衛星の打上げ用ロケットと打上げ施設の適合性を確保する技術的条件	添付資料〇〇に示す

備考 1 用紙の大きさは、日本産業工業規格A4とすること。

2 氏名を記載し、押印することに代えて、署名することができる。この場合において、署名は必ず本人が自署するものとする。

- 3 人工衛星等の打上げ及び人工衛星の管理に関する法律施行規則第13条第2項各号に掲げる書類を添付すること。

(別紙1-1)

人工衛星の打上げ用ロケットの設計

1 概要

主要諸元			
型式 (※1)	CAO ロケット		
機体の名称 (※2)	I 型	II 型	
段構成	2 段	2 段	
補助ブースタ等の有無及び本数	補助ブースタ : 2 本	補助ブースタ : 4 本	
全長 (m)	60m	60m	
直径 (代表径) (m)	4m	4m	メインとなる機体の径を記載する。
全備質量 (t) (人工衛星を除く)	460t	600t	
誘導方式	慣性誘導方式	慣性誘導方式	
飛行中断措置の方法	指令破壊	指令破壊	

※1 型式とは、機体形態の別を考慮しないロケットの型式を指す名称をいう。例：H-IIA

※2 機体の名称とは、機体形態の別により異なる名称をいう。例：202 型

衛星フェアリング			
名称	標準型	長型	太型
全長 (m)	5m	7m	7m
外径 (m)	4m	4m	5m
質量 (t)	1.0t	1.4t	1.8t
主要搭載電子装置	ビーコン	ビーコン	ビーコン



CAO ロケット I 型 概要図



CAO ロケット II 型 概要図

(別紙 1-2)

機体の名称	II型						
各段等の詳細 (必要に応じ補助ロケット等の諸元を追記すること)							
	第1段		第2段		補助ブースタ	ガスジェット	
全長 (m)	40m		20m		2m		
外径 (m)	4m		4m		1m		
質量 (t)	200t		100t		75t×4		
エンジン等の基(本)数	2本		1本		4本	姿勢制御用エンジンも記載する	
エンジン等1基(本)あたり推力 (kN)	1100kN		1100kN		2500kN		
燃焼時間 (s)	300s		400s		110s		
推進薬種類	LOX	LH2	LOX	LH2	ポリブタジエン系コンポジット固体推進薬		
推進薬質量 (t)	130t	25t	16t	4t	60t×4		
姿勢制御方式	慣性誘導方式		慣性誘導方式		慣性誘導方式		
主要搭載電子装置	・誘導制御系 - ○○○ - ○○○ ・計測系 - ○○○ - ○○○ ・指令破壊系 - ○○○ - ○○○		・誘導制御系 - ○○○ - ○○○ ・計測系 - ○○○ - ○○○ ・指令破壊系 - ○○○ - ○○○		・誘導制御系 - ○○○ - ○○○ ・計測系 - ○○○ - ○○○ ・指令破壊系 - ○○○ - ○○○		

※ガスジェット・サイドジェット等の姿勢制御用エンジン等を含む

打上げ能力 (必要に応じて代表的軌道を追記すること)				
代表的軌道名称	低軌道			
高度 (km)	300			
軌道傾斜角 (度)	35			
打上げ可能質量 (kg)	5000			

低軌道以外でも打ち上げる可能性のある代表的な軌道を記載してください。

2 ~~(別紙1-3)~~

㊦ ロケットシステム系統図

1項概要別紙1-1に記載した人工衛星の打上げ用ロケットについて、系統図を記載してください。

系統図の記載にあたっては、着火装置等のシステムが規則第7条第2号の着火装置等の安全要求を満たすことがわかる記載としてください。

3 ㊦ 飛行安全管理に係る主要構成装置等

※装置等の名称、概要及び搭載段

ロケットにおいて、飛行安全管理に係る装置については、その概要、システム系統図等を記載してください。一例として以下のような説明、系統図等を記載してください。

- ・ 打上げロケットの飛行状態(姿勢、状態等)を送信するシステムの概要及びシステム系統図
- ・ 打上げロケットの保有する飛行中断システムの概要及び機能ブロック図等

なお、打上げロケットの適合性を確保する技術的条件及びその条件に適合していることの説明が必要な場合は、当該資料を添付してください。

~~—(別紙 1-4)—~~

⊖4 エンジン系統図 (第 段)

~~※1 補助ロケット、姿勢制御用エンジン等を含む。~~

~~※2 着火装置等の安全に係る機能を含む。~~

~~※着火装置等の安全に係る機能を含む。~~

打上げ用ロケットのエンジン系統図について、系統図を記載してください。

系統図の記載にあたっては、エンジン系統に関連する着火装置等のシステムが規則第 7 条第 2 号の着火装置等の安全要求を満たすことがわかる記載としてください。

~~※各段のエンジン等基数に応じて記載すること。~~

~~(別紙1-5)~~

⑤ 軌道上における不要な人工物体(以下「軌道上デブリ」という。)発生の抑制のための措置

※ロケット軌道投入段、人工衛星分離に係る装置等

ロケット由来の軌道上デブリ発生の抑制のための措置について、システム概要や図面、解析結果等を記載してください。

様式第十三（第十六条第一項関係）

適合認定申請書

平成 ~~30~~ 令和元年 410 月 1 日

内閣総理大臣 殿

(郵便番号) 100-0013

住 所 東京都千代田区霞ヶ関〇〇〇

氏 名 _____ 印

(法人にあっては、名称)

名称 〇〇〇〇株式会社 印

連絡先 〒***-**** 東京都千代田区大手町*-*-*

〇〇〇〇株式会社 総務部総務課 内閣 太郎

電話：03-6205-**** 内線9999

電子メール：naikaku-taro@xxx.co.jp

下記のとおり、打上げ施設の適合認定を受けたいので、人工衛星等の打上げ及び人工衛星の管理に関する法律第16条第2項の規定により、申請します。

記

打上げ施設の場所、構造及び設備（様式第1の別紙2）	打上げ施設の場所、構造及び設備については、様式第1の別紙2—1に示す。
型式認定番号	〇〇〇〇〇
型式	型式：CA0 ロケット
型式認定年月日	平成 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日
飛行中断措置その他の人工衛星の打上げ用ロケットの飛行経路及び打上げ施設の周辺の安全を確保する方法	添付資料〇〇に示す。

- 備考
- 1 用紙の大きさは、日本産業工業規格A4とすること。
 - 2 氏名を記載し、押印することに代えて、署名することができる。この場合において、署名は必ず本人が自署するものとする。
 - 3 人工衛星等の打上げ及び人工衛星の管理に関する法律施行規則第16条第2項各号に掲げる書類を添付すること。

(別紙2-1)

打上げ施設の場所、構造及び設備

1 概要

施設名称	CAO 宇宙センター
所在地	〇〇県〇〇市〇〇 備考 施設が複数住所にまたがる場合は、代表地点の住所を記載すること。
打上げ施設の概要及び主要設備の配置図	
<p style="color: red;">ロケット打上げ施設全体を、地図上に表示し、施設の所有する設備の位置を示してください。</p> <p style="color: red;">地図上には、打上げ施設外との境界線及び主要設備の場所を示してください。</p> <p style="color: red;">主要設備としては、以下が挙げられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 火薬等の保安物の取り扱い設備及び貯蔵所 ・ ロケット、人工衛星の組立棟取り扱い設備 ・ 射点 ・ <u>ロケットの発射、緊急停止、安全化処置等を制御する建屋</u> ・ 飛行安全管制棟設備 ・ <u>地上局</u> <p style="color: red;">また、記載にあたっては設備の名称のみならず、各設備の機能についても記載してください。</p> <p style="color: red;">なお、打上げ施設の適合性を確保する技術的条件及びその条件に適合していることの説明が必要な場合は、当該資料を添付してください。</p>	
備考	<p>1 縮尺等により距離情報を記載すること。</p> <p>2 打上げ施設外との境界を明示すること。</p>

2 ~~(別紙2-2)~~

○主要設備

※名称及び概要、セキュリティ対策

1 ~~項別紙2-1~~に記載した設備について、設備の名称、機能・概要について記載してください。

3 ○発射装置

※概要及びシステム系統図（着火装置等の安全に係るシステムを含む。）

打上げ施設において、着火装置等の発射装置については、その概要、システム系統図等を記載してください。

~~(別紙2-3)~~

④ 飛行安全管理に係る主要構成装置等

※概要及びシステム系統図

打上げ施設において、飛行安全管理に係る装置については、その概要、システム系統図等を記載してください。